

果樹・果菜害虫に長く
幅広い効果。



バリアード[®]

顆粒水和剤

バリアードが守る。実る。

ネオニコチノイド系
殺虫剤



アブラムシ類



モモシクイガ



チャノホソガ



タバココナジラミ

- 鱗翅目害虫、吸汁害虫に高い効果を発揮！
- 作物に対して安全で環境負荷も少ない！
- 使いやすい「顆粒水和」だから使用者も安心！

- 広範囲の害虫に高い防除効果があります。
- ハチ類に対して影響が少ないので、施設栽培の果菜類(いちご・トマト・ミニトマト)などにも使いやすい薬剤です。
- 優れた浸透移行性、残効性を持っているので、作物全体を害虫の被害から守ります。
- 粉立ちせず、非常に溶けやすい顆粒タイプで使いやすい薬剤です。
- 人畜・魚介類に対する安全性が高く、環境にもやさしい薬剤です。

■適用害虫および使用方法

(2019年11月現在の登録内容)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール 当り 使用液量 (ℓ)	使用 時期*	使用 回数*	使用方法			
りんご	カメムシ類 リンゴワタムシ	2,000	200~700	前日	3回	散布			
	アブラムシ類	4,000							
	シンクイムシ類	2,000~4,000							
	キンモンホソガ ギンモンハモグリガ コナカイガラムシ類	4,000							
なし	アブラムシ類 シンクイムシ類	2,000~4,000							
	クワコナカイガラムシ	4,000							
	カメムシ類	2,000							
もも	アブラムシ類 シンクイムシ類	2,000~4,000					3日	2回	散布
ネクタリン	モモハモグリガ								
小粒核果類 (うめ・すももを除く)	アブラムシ類	4,000					前日	2回	散布
	シンクイムシ類								
すもも	モモノゴダラノメイガ	2,000~4,000					前日	2回	散布
	アブラムシ類								
うめ	アカマダラケシキスイ シンクイムシ類	4,000	前日	2回	散布				
	アブラムシ類	2,000~4,000							
おうとう	オウトウショウジョウバエ	2,000	前日	2回	散布				
	ウメシロカイガラムシ	4,000							
ぶどう	チャノキイロアザミウマ コナカイガラムシ類	4,000	21日	1回	散布				
	アブラムシ類	2,000~4,000							
かき	カキノヘタムシガ コナカイガラムシ類 アザミウマ類	2,000	200~700	前日	3回	散布			
	ウリノメイガ	2,000							
メロン	アブラムシ類	4,000	100~300	前日	3回	散布			
	ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	2,000~4,000							
きゅうり	アブラムシ類	2,000	100~300	前日	3回	散布			
	ウリノメイガ								
いちご	アブラムシ類	2,000~4,000	100~300	前日	3回	散布			
	コナジラミ類	2,000							
すいか ピーマン	アブラムシ類	2,000~4,000	100~300	前日	3回	散布			
	ズッキーニ とうがらし類	4,000							
なす トマト	アブラムシ類	2,000~4,000	100~300	前日	3回	散布			
	コナジラミ類								
ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	4,000	100~300	前日	3回	散布			
こまつな	アブラムシ類								
ばれいしょ	アブラムシ類	4,000	100~300	前日	3回	散布			
	アブラムシ類								
茶	チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ チャノホソガ コミカンアブラムシ	2,000~4,000	200~400	7日	1回	散布			
	マダラカサハラハムシ	2,000							

*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫(摘採)前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

■注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- ネクタリン、すももおよびあんずでは品種により葉に薬害(軽い穴あき症状)を生じることがあるので注意して下さい。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節して下さい。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、桑に付着するおそれのある場所では使用をさせて下さい。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 医薬用外劇物なので、取扱いには十分注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。
- 粉末は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00、13:00~17:00
土・日・祝日を除く

F-1023 19.11.NY